



第2975回例会 2025. 11. 13 No.17

本日の出席率

- ・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・布施孝尚会長 今日はロータリー財団委員会のフォーラムです。佐藤敬喜委員長よりお願いいたします。
- ・佐藤敬喜会員 本日、ロータリー財団委員会のフォーラムです。よろしくお願いします。
- ・阿部泰彦会員 佐沼ロータリークラブ創立60周年記念事業迫図書館への図書寄贈に対し、登米市熊谷康信市長より感謝状、ありがとうございました。佐藤敬喜委員長のロータリー財団フォーラムご苦勞様です。
- ・高田次雄会員 太陽暦採用記念は11月9日でした。文明開化にともない、西洋諸国の採用する太陽暦（グレゴリオ暦）に合わせようと、明治政府が改暦の布告をだしました。これによって一日二十四時間、一週間七日で日曜日が休日となり、当時の国民生活は激変し戸惑い、しばらくは追いついていなかったようです。(大変な出来事、皆さんも想像できますよね) 佐藤敬喜委員長のフォーラム、楽しみです。
- ・菅原慶一会員 財団委員会のフォーラム、佐藤敬喜委員長よりお願いします。
- ・伊藤秀雄会員 佐藤敬喜委員長、大変期待しております。
- ・吉田佳代会員 本日も宜しくお願い致します。
- ・加藤亮幹事以下 本日のフォーラムに期待して。
 - 千葉吉男会員 菅野幸一郎会員 佐竹孝行会員
 - 佐々木源悦会員 岩渕正彦会員 熊谷敏明会員
 - 高橋利光会員 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員
 - 武川毅会員 及川昭宏会員 杉田広仁会員
 - 佐藤早智子会員 大畑好司会員 千葉正宏会員
 - 佐藤哲弥会員 志賀昭洋会員 佐藤利尚会員
 - 村上正弘会員 及川幾雄会員 佐藤郁子会員
 - 佐藤淳会員 渡辺光太郎会員以上、ありがとうございました。

会長要件 布施孝尚会長

朝晩の寒暖差が激しくなり、特に朝方は霧、もやが発生することがあります。早朝の仕事などでお出掛けになる方は十分に気をつけていただければと思っています。

今日は、ロータリーの「財団月間」です。本日はロータリー財団委員会のフォーラムですが、財団の有り様が近年少し変わってきているという印象がございします。毎年100ドルの寄付をすると「財団の友」会員になり10年間続けると累積1,000ドルになると自動的にポール・ハリス・フェロー（PHF）の認証を受けることになっております。この様に毎年大きな負担がなく、いろいろな形で財団に寄付できる制度が出来ております。

ロータリー財団の取り組みは、直接見えない取り組みではありますが「エンド・ポリオ」を含めて世界的に非常に大きな役割を果たしているのが、ロータリークラブの財団の取り組みであります。

又、先程、登米市より佐沼ロータリークラブ60周年記念事業として図書を寄贈したことに対して感謝状をいただきましたが、このように各クラブでの色々な事業に対し、財団に寄付したことによって、財団から補助金が出ています。そういった意味で我々の活動を後押ししてくれていると考えております。

本日は、佐藤敬喜委員長より詳しくお話いただけると思います。私自身も改めまして一から勉強させていただきたいと思います。

幹事報告 加藤亮幹事

- ・高橋利光ガバナー補佐より
インターシティミーティング（IM）のお知らせ
日時 令和8年1月17日(土)
式典 15:00~17:00
懇親会 17:00~19:00
場所 若鯨「はさま館」
※詳細は、FAXにてご案内いたします。
- ・11月のロータリーレート 1ドル=154円
- ・Rotary MAGAZINE 11月号が届く
- ・例会終了後、理事会開催

各委員会報告

・次世代奉仕委員会（佐藤利尚委員長）

いよいよ今週末11月15日(土)、16日(日)には、少年少女野球大会が開催されます。3会場の設営等に多くの人手が必要となります。委員会のメンバー、会員の皆様のご協力をお願い致します。

フォーラム

・ロータリー財団委員会（佐藤敬喜委員長）

今回は、ロータリー財団について基礎的なことを簡単に説明します。ロータリー歴の長い会員にとっては復習の形になりますが、よろしくお願いします。

○「世界でよりよいことをするために」

1917年、当時の会長アーチ・C・克蘭フがアトランタの国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案。これが、ロータリー財団をつくるきっかけとなった。

○ロータリーの財団設立

1905年 ポール・ハリスが、ロータリークラブ設立
1917年 6代アーチ・克蘭フの提案と基金設立
ミズーリ州カンサス・シティーRCから26ドル50セントの最初の寄附金

1928年 ロータリー財団と改称（ミネソタ州ミネアポリス国際大会）

1931年 信託宣言：ロータリー財団が受け取り管理する財産及び収益は、全て国際ロータリーが行う活動のみに使われる。

○6つの重点分野（優先事項）

1. 平和と紛争予防/紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

○寄付は大きく分けて次の3種類

1. 年次基金寄付：年次基金寄付は、寄付の基礎であり、ロータリー財団の補助金とプログラムの主な資金源です。
2. 恒久基金寄付：恒久基金は、最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を可能にするためのものです。
 - ・恒久基金への寄付金は使用せず基金として積立てておきます。
 - ・恒久基金への寄付金は投資され、投資収益のうち一部が財団活動の支援に使用されます。
3. 使途指定寄付：あらかじめ使い道を決めて寄付するものです。
 - ・ポリオプラスなど：財団への寄付金は投資され、三年後その収益が奉仕活動に使われる。

○ロータリー財団への寄付の流れ

1. 寄付：寄付の種類を決める
2. 寄付の方法：現金、定期寄付（クレジットカード、オンライン寄付による自動定期寄付）その他
3. 領収証：毎年2月頃クラブに届く
4. 認証：個人やクラブからの寄付に対して感謝の気持ちを表すために

○補助金を得るには

1. 計画をたてる
2. 資格：補助金管理セミナーに一名以上参加、RCからの覚書の要件を遂行する。前年度クラブから11月までに寄付金が入金されていること
3. 覚書を承認し同意する
4. 地区の審査
5. 確定
奉仕活動を実行するには2年かかる

○税制上の優遇措置

公益財団法人ロータリー財団への個人、法人からのご寄付は、公益目的事業を支援するために支出された「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱う、税制上の優遇措置の対象となる

○個人寄付の認証

- ・財団の友：年次基金に毎年100ドル以上を寄付
- ・ポール・ハリス・フェロー：年次基金・ポリオプラス・WF等へ累計1,000ドル以上寄付
- ・ベネフェクター：恒久基金へ1,000ドル以上寄付
- ・大口寄付金：寄付分類に関係なく累計が10,000ドル以上に達した方
- ・アーチ・クラウン・ソサエティー：寄付分類に関係なく累計が25万ドルに達した方
- ・ポール・ハリス・ソサエティー：毎年1,000ドルの寄付

2520地区は寄付金額が全国で下位の方です。財団寄付をご理解の上ご協力の程お願い致します。



感謝状の授与（登米市より・図書寄贈に対して）



登米市立迫図書館に60周年記念誌が掲示されています